

鳥屋学園だより

鳥屋学園
令和7年度

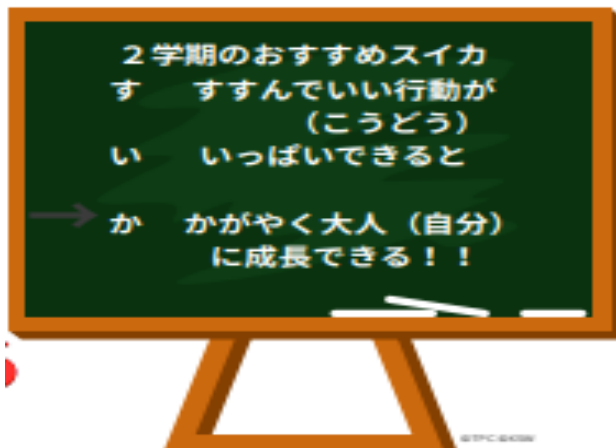
〈鳥屋学園の教育目標〉 【自律・見識・貢献】

確かな知恵と知的探究心を基盤として、自ら学び主体的に考える力と
たくましく生きる力を身につけた子どもを育成する。



9月号 8・29

2学期も(す)(い)(か)…いい行動で輝くステキな大人に！！ 校長 内藤千春



大きな学校行事の輝鳥祭をはじめ、学んだことをお披露目する機会が多い2学期。みんなとたのしく学び、活動して一人一人が成長するために、心がけてもらいたいことを“2学期のおすすめスイカ”ということで始業式に話をしました。(左図)

“いい行動”を積み重ねて行くことで、自分で自分を鍛え、いい行動が醸成し、輝くステキな大人になれます。だからこそ、いい行動をなるべく増やしていくことが大切です。

そこで、いい行動ってどういう行動か“自分事”として考えることから始めましょう。ヒントとして以前に朝会で話した心の中にある白い狼にエサをあげることは“いい行動”です。自分の弱い心を強い心に変えていくことにつながります。



転んでしまった人を見かけたら…痛そうだな。大丈夫と声をかけたり、道具を拾ってあげたり、立ち上がるまでそばにいたり、転んでしまった人の気持ちを考えることが“いい行動”のヒントとなります。おそらく、自分が転んだ時に痛くて、恥ずかしくて…**そんな体験をヒントに“いい行動”はこれだと自分で導きだした考え**となります。ゆえに、いろいろな活動をやってみること、体験することは“いい行動”を考える力となります。

しかし、学校生活の集団(みんなの中)でおこなう行事は、自分は何をすればよいかわからない時はありませんか？これは他人事状態です。みんなの中での“いい行動”はむずかしい応用問題となります。なかなか一人では答えを導き出すことは難しいです。だからこそ、学級でこの応用問題をみんなで解き合って、“いい行動”はこれだと自信をもち、自分事として活動しましょう。**“いい行動”を考え自分事として実行する**。このように**訓練することで、輝くステキな大人に近づきます**。さて、文化の部のねらいは、班のメンバーと協力してお客さんに喜んでもらう(貢献活動)ことです。みんなでいい行動が満載の2学期にしましょう。

応用問題 輝鳥祭の活動を通して“いい行動”とは…

3 ステージ用(6年生も)=リーダーとしてねらいを達成するための“いい行動”とは？

2 ステージ用=フォロアーとしてねらいを達成するための“いい行動”とは？

1 ステージ用=メンバーとしてねらいをたっせいするための“いい行動”とは？

【輝鳥祭・文化の部】

9/20（土）に行われる輝鳥祭文化の部。午前中の「ふれあいの部」では学園生が4つのグループに分かれて、ワークショップや出し物を企画しています。また校内には授業などで作ったものが多数展示されていますので、そちらもお楽しみください。

午後はPTAの協力で「陽だまりの会」が開催されることとなり、今年は「荒馬座」を招いて和太鼓の演奏を鑑賞することになっています。

詳しくは保護者の皆様にはメールやお便り、地域の皆様には回覧でご案内いたしますので、ぜひ学園においでください。

令和7年9月20日（土）の主な日程

「ふれあいの部」：校舎内

8：45～ 8：55 開会式
8：55～ 受付：昇降口
9：05～ 9：55 活動（前半）
9：55～10：05 交代時間
10：05～10：55 活動（後半）
11：00～11：10 閉会式
11：15～11：30 片付け
11：30～11：55 振り返り
12：00～12：20 昼食（弁当）
12：20～12：45 昼休み

「陽だまりの会」：体育館

12：30～ 受付：体育館
12：50～12：55 はじめの会
12：55～13：25
「荒馬座」による公演
13：25～13：35 休憩
13：35～14：05
太鼓ワークショップ
14：05～14：20 おわりの会
14：25～14：35 帰りの会
14：40 下校

【保護者・地域の方へのお願い】

- ・午後は参加人数把握のため、右記の2次元コードから申し込みをお願いいたします。（申し込みされなかった方でも当日の参加は可能です。）
- ・お車でお越しの際は学園の校庭をお使いください。また上履きをご持参ください。
- ・お昼をはさんでの活動になりますので、学園生にはお弁当を持たせてください。



問い合わせ先：鳥屋学園副校長 石井・松本
042-785-0239

<民族歌舞団 荒馬座>

荒馬座は、1966年に東京板橋に創立され、首都圏を中心に公演活動をおこなっている民族歌舞団です。日本の太鼓や踊り・歌といった人々の生活の中から生まれた民族芸能には、働く人々の生活の喜怒哀楽、豊かな自然や命をいとおしむ心、生きる知恵や共同の喜び、そして困難を乗り越える強さや明るさが豊かに込められています。荒馬座はこうした民族芸能を再創造して、現代の働く人々の「明日を生きる力」となるよう、多くの働く皆さんの支持と共感を得て今日まで活動を続けています。

